

プラスワンチャレンジ

5年 分数のかけ算とわり算

$\frac{2}{7} \times 3$ の計算の途中の式で正しいものに○をつけましょう。また、なぜ、そうなるのかを下の□にかきましょう。

(○) $\frac{2}{7} \times 3 = \frac{2 \times 3}{7}$ (50点)

() $\frac{2}{7} \times 3 = \frac{2 \times 3}{7 \times 3}$

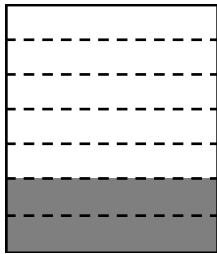
() $\frac{2}{7} \times 3 = \frac{2}{7 \times 3}$

選んだ理由 (50点)

「 $\frac{2}{7} \times 3$ 」という式の意味は、 $\frac{2}{7}$ が 3 個という意味になる。 $\frac{2}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が 2 個分あるということなので、「 $\frac{2}{7} \times 3$ 」の答えは、 $\frac{1}{7}$ が (2×3) 個分と考えられる。

だから、「 $\frac{2}{7} \times 3 = \frac{2 \times 3}{7}$ 」となる。

図で表すと次のようになる。



$\frac{1}{7}$ が (2×3) 個

解説

今までに習っていない、新しい計算を考えるときは、計算の意味を考え、図などを使って考えることが大切です。分数は何が何個分ということなのか、考えるとわかりやすかったのではないのでしょうか。今回の数学者は、イギリスの数学者、ニュートンです。物が落ちることから「物体が地球に引きよせられる」ということに気づき、万有引力ばんゆういんりょくの法則ほうそくを見つけたことで有名です。たん生日はちょうどクリスマスの 12/25 だそうですよ。

